

事業全体の方向性について

令和4年度 第1回北海道管理河川の川づくりワーキング
令和4年（2022年）9月28日

1. 河川・砂防事業全体の方向性

基本的な考え方

- * 河川の安全度を高めることを第一に考えて事業を実施し、その中で河川利用や環境保全等を図っていきます。

川づくりワーキング委員の専門性の活用

- * 各委員に、各々の専門性に関する調査等への同行を依頼するとともに、施工に係る助言をいただき計画の参考とします。

親水性

- * 水辺の楽校を中心に、立地条件等（流下能力、学校、住宅地、沿川住民要望など）に合わせて親水性に配慮します。

重要種※1植物への対応

※1 重要種：環境省や北海道のレッドリストなどで指定された生物

- * 施工範囲の重要種植物については、可能な限り保全や移植を検討します。

樹木伐採時の保全対象

- * 持続性広葉樹など保全候補樹種を極力保全するとともに、線状の保全を検討します。